

アカウンティングスクール（国際会計研究科）

国際会計研究科（CGSA）は、最新の会計、ファイナンスならびにマネジメントの実務と理論の教育を行うアカウンティングスクールです。2002年に日本初の会計大学院として開校して以来、883名の会計・ファイナンスのプロフェッショナルをビジネスの最前線に輩出しています。

CGSAは、社会人をターゲットとした教育体制を構築していますが、学部新卒学生も受け入れており、社会人学生と同様のカリキュラムで専門職学位課程の修了を目指します。

CGSAでは、学部新卒学生を対象とした就職サポートを行っており、市ヶ谷田町キャンパスに設置されているキャリアセンター分室を利用することができるほか、就職ガイダンスを開催しており、例年多くの学生から、専門的かつ的確な内容が支持されています。

CGSAの学部新卒学生は、会計、ファイナンスの専門領域と、その周辺知識であるマネジメント、税務の領域を学修し、社会人学生と学生生活を送っていることが他大学の会計大学院と比較して大きなアドバンテージと

なっており、企業の新卒採用担当者に評価されています。

おかげさまで、2011年度、2012年度に続き、2013年度も就職希望者による就職決定率100%を達成することができました。今後とも、皆さまの変わらぬご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



キャリアセンター職員による就職ガイダンスの様子

2013年度の学部新卒学生の主な就職先

豊田通商株式会社、日産自動車株式会社、三井住友信託銀行、西日本シティ銀行、山九株式会社、三菱UFJ信託銀行、国税庁、新日本有限責任監査法人、三井住友海上火災保険株式会社、群馬銀行、茨城県農業協同組合中央会、NOK株式会社 ほか

ロースクール（法務研究科）

ロースクールでは、多忙な法科大学院生活のなかで、少しでも効率的に時間を活用して、学修・研究の充実を図るため、学期中の昼休みに「ランチ&トーク」というイベントを開催しています。これは、参加者が各自で用意した昼食をとりつつ、タイムリーかつ専門性の高い内容の講演を聴いた後に、質疑応答のセッションを行う「昼食持ち寄りの懇話会」です。講師の意外な一面も見られ、時には感動あり、時には笑いありの充実したお昼のひとときとなっています。

去る2014年5月12日には、弁護士の額

田みさ子先生を招いて「弁護士と法教育」というテーマで講演を実施しました。

額田先生は中央大学卒業後、司法試験合格、弁護士登録を経て、司法研修所教官や第二東京弁護士会の子どもの権利に関する委員会委員長などを歴任、現在では日本弁護士連合会の市民のための法教育委員会副委員長も務めています。

今回は、額田先生の専門である少年事件などの経験をふまえつつ、法教育（＝法律専門家ではない一般の人々が、法や司法制度、これらの基礎になっている価値を理解し、法的

なもの（ものの考え方を身につけるための教育）の重要性についてお話いただきました。講演後には、引き続き質疑応答が行われ、「法科大学院の学生という立場で、法教育にどのようにかかわることができるか」「法科大学院として積極的にかかわっていくべきではないか」などといった、活発な意見交換が行われました。

終了後の参加者アンケートには、「法教育がどういうものなのかが分かった」「法科大学院生として、法教育とどのようにかかわることができるかを知ることができ、とても有意義だった」「少年事件における加害者少年とのかかわりかたなど、経験に基づく具体的な話を伺うことができて良かった」といった



講演する額田みさ子弁護士

感想が寄せられました。

また、次回のテーマとして、少年事件についてよりいっそう理解を深めたいとの意見が多く寄せられており、参加者の視野を広げるきっかけとなりました。

ビジネススクール（戦略経営研究科）

中央大学ビジネススクールは、日本発「戦略経営リーダー」の育成を目的として、「戦略」を中心に、「マーケティング」「人的資源管理（HRM）」「ファイナンス」「経営法務」の5分野統合型のMBAプログラム（専門職学位課程）として、2008年4月に設立され、428名の修了生を輩出しています。

「戦略経営リーダー」とは、戦略的に経営する（戦略思考・戦略実践）ことができる次世代型リーダーであり、グローバル・グローバル対応が可能な人材です。

中央大学ビジネススクールでは、入学者を社会人に限定し、理論と実務のバランスの取

れた教員・カリキュラム、ケーススタディ・グループワーク・ディスカッションといった双方向型の授業スタイルにより、理論と実践を融合させることができる人材を育成します。

社会人がキャリアを中断することなくMBAが取得できるよう、都心の後樂園キャンパス（最寄り駅まで東京駅から8分）に開設し、授業は2か月集中で平日夜間と土日に開講し、遅刻欠席した時には授業映像を見られるVODシステムを用意。さらに給付・貸与の奨学金制度や半年休学制度・専任教員によるアドバイザーなどで修学をバックアップしています。

入学時平均約38歳のビジネススクールは、30～40代が中心となっており、多様な業種・職位・年代のダイバーシティ人材との学びにより、知識だけでなく実践知を得ることができます。

2010年4月には、より高度な専門職業人・実務家教員の育成を目的としたDBAプログラム（博士後期課程）を開設し、厳格な学位審査のもと、2名の博士学位取得者を輩出しています。



白熱のグループワーク